



読字 原田 親

No. 634

2011/4/5

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0044 東京都文京区湯島
神田区1-1-1 東京大学会館3階

日中友好協会
岡山支部
〒700-8256
岡山市東区3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号119所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8011
倉敷市連島中央1-8-1
(宮地方)
TEL/FAX:0860446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



日中友好協会本部の

大震災情報

②

☆3月20日(日)11時52分

岩手県大船渡市で活動している中国の救援隊の様子を、中国網日本語版(チャイナネット)が伝えています。

中国国際救援隊が日本で救援活動を始めて17日で5日目に入った。気温が低く、雪も降り、水も電気もないうえ、放射線汚染も懸念されるなか、救援隊は作業を続けている。福島原発の放射線もれへの懸念から、フランスの救援隊は被災地での救援活動を中止し、撤退する方針を決めた。中国救援隊の隊員は、まだあきらめない。(被災者を見捨てない)と救援活動を続けている。

大船渡市は三面を山に囲まれ、一面が海に面しているため、海風が非常に強く、強風で何度もテントが吹き飛ばされた。同じ地域で捜索を行っている米国、英国の救援隊は米軍基地からの後方支援があるため、食料や水の確保は問題ないが、中国の救援隊は持参した限られた生活物資に頼っており、残りわずかとなっているため、在日中国大使館がカップヌードルやマントウ(中国の主食の蒸しパン)、たまご、飲用水などの生

くなりました」とのこと。無念です。悲しみを乗り越えて立ち上がろうとしている盛岡の皆さんに、逆に励まされる思いです。

三重県連には内蒙古錫林郭勒(シリングル)盟民族芸術学校校長から、大分支部には中国福建省外国専門家局局長からお見舞いのメール・電報が届きました。

東京のガソリンスタンドは車が長蛇の列を作っています。しばらくの間、日中友好新聞の到着は予定日よりかなり遅れることをご了承下さい。東北と関東地方は昨日と今日も強い地震がありました。気が休まることのない日々が続きます。

☆3月21日(月)13時12分

全国各地での救援募金の取り組みに心から御礼申し上げます。各地の取り組みの状況を、このメール・FAXや日中友好新聞でご紹介し、取り組みの促進につなげたいと思います。取り組みの内容や、協力者の声など、なんでも結構ですので、本部までお寄せ下さい。

☆3月21日(月)19時28分

本日、富山のセンターをとおして仙台にあるパネルの無事が確認でき、さらには本日付で、仙台から群馬に向けて漫画展パネルを発送してもらったことができました。24日からの群馬展が予定どおり開催されることを祈るばかりです。

救援募金のお願いに応えて、早速、千葉、東京、長岡、愛知、兵庫から報告が寄せられました。

☆3月24日(木)20時2分

太極拳教室は県北の10教室中、大部分が避難者受け入れ施設となったため休講、講習生に電話をかけ、安否を問いつながら連絡。中国語講座は午前の部が公共施設の使用ができず休講「せざるを得ず、夜間の部は会場のライフレイン不備につき早めに終講にした。

漫画展「は会場の県美術館が地震で「当分閉館」で中止となる。事務所のライフレインが復旧する見通しは早くも28日。海沿いの大津波による被害が大変、三陸地方に被害が集中している。ずっと気温が低く寒い避難所はつらい。

群馬の漫画展は、予定どおり本日24日の開幕を迎えることができました。被災地救援募金を会場で訴えるとともに、書籍販売の収益の一部を救援募金にあてることにしています。群馬展の盛会を心から祈ります。

日中友好新聞の配達遅延については、すでにその可能性があるあることをお知らせしましたが、重ねて配達の遅延を心配している問い合わせをいただいています。配達状況は地域によっても異なるため、遅延の程度は一概に申し上げられない状況です。

被災地以外の連合会・支部におかれましては、非常事態の影響としてご理解をお願いする次第です。個々の配達状況につきましては、必要があれば本部へお問い合わせ下さい。

東北地方の配達については、発送業者が各宅配業者の配達状況を把握し、その時点で最も迅速に配達できる業者を選択して発送する体制をとりました。その上で、該当組織の意向も踏まえて発送を保留していた3/25付日中友好新聞を、本日発送しました。なお遅延が予想されますが、ご理解をお願い致します。

金町浄水場での放射性物質の検出により、東京も水の問題をめぐって不安がつのっています。

☆3月27日(日)10時58分
昨日、盛岡支部の栃内博事務局長から、会員へのお見舞いと状況報告のための支部声明を出すことを決めたとの報告をいただきました。あわせて、釜石支部再建の中心として期待されていた大槌町の石井祐一郎さんが地震の犠牲になられたとの報告があり無念です。

広島県連にはハルビン市社会科学学院から、都城支部にも聶榮臻元帥の娘の聶力さん、沙飛の長女の王雁さん、聶榮臻元帥研究会、聶元帥陳列館、河北国際旅行社、北京風雷京劇団・松岩団長をはじめ、交流を深めてきた個人からもお見舞い文が

送られてきています。

4月2日、3日に大阪で開催される本部常任理事会に長尾会長が福島から参加されます。その経路は福島から郡山までは知人の車、那須塩原まではバス、那須塩原から新幹線で東京を経て、大阪へというぐあい。くれぐれも無理だけはなさらないようにと返信させていただきました。

☆3月29日(火)20時45分

宮城県連では、公共施設を会場としている太極拳と中国語の教室のほとんどが、避難所となっていて、教室の開講が難しい状況です。復興のための資金問題が深刻になるだろうとのお話をします。

盛岡支部は、盛岡支部役員故石井祐一郎さんの遭難死に当たり「お願い！」との訴えを出しました。その始めの部分を紹介します。

◇本県上閉伊郡大槌町居住、当支部役員故石井祐一郎氏は、去る3月11日襲来した未曾有の大津波、東日本大震災に、居住区に於いて遭難、ご逝去されました。3月20日花巻市にて、ご遺族により火葬と内々の葬儀が執り行われました。

大槌・釜石地域は支部結成途上にあり、故石井氏は地方会員として盛岡支部に所属、積極的な活動を展開中でありました。(以下省略)

中国・四国中国帰国者支援・交流センター主催

広島センター学習発表会と広島市内企業見学会

遠く岡山からの

参加ありがとう

中国・四国中国帰国者支援・

交流センター

教務 橋本優香

毎年行う中四国センターの学習発表会も5回目を迎えました。今年は岡山県の帰国者にも参加していただき、より盛大な会になりました。

岡山からお客様がみえるというところで、これまではお客さん気分だった広島の人々も、展示準備を一生懸命してくれたり、出迎え係や体験コーナー指導係などを担当してくれるなど、より積極的に会の運営に参加してくれました。

大半の人が初対面でしたが、同じ帰国者同士すぐに打ち解け、一緒に体験コーナーで作品を作ったり、歌ったり踊ったりしながら、交流を深めることができたように思います。

今年も広島の人々が発表し、岡山の人がお客さんでしたが、芸達者は両県にいますので、来年は何か合同で発表できるようになるというなあと思っています。

広島・岡山に限らず、同じ地域に帰国した者同士が情報交換できる交流の場を、今後も作っていききたいと思えます。

岡山の皆さん、遠いところへ参加くださってありがとうございました。

学習発表の会場へ

小林軍治

私たちは午後1時頃、学習発表会会場の広島県社会福祉会館に到着し、広島県の帰国者やセンター職員のアタタかい出迎えを受けました。出迎え者のなかに元「孤児」訴訟広島原告団の代表者を見つけた高杉さんと高見さんは、懐かしそうに歩み寄り言葉を交わし、記念写真をとりました。

開会式の後、グランドゴルフや4つの体験コーナー（革細工・手芸・ポリマークレイ・芋版クラフト）で中国語と日本語が飛び交う中、参加者は、お互いの作品を見比べ楽しく交流しました。続いて「いきいき運動教室」で全



員体を解し、広島島の発表を聞き、最後に「お楽しみ抽選会」で会は終了しました。

岡山の参加者は、広島県の帰国者やセンター職員の心配りに感謝し、次回は自分たちも何か発表したいとの思いを抱きながら広島を後にしました。

楽しかった

一日交流会

10時頃広島に着きました。まずマツダ自動車企業見学会、ガイドさんは館内概要と車製造、最初から今まで説明していただきました。ビデオを見ました、説明は中国語です。マツダ本社は大きくて、出来た「車型」はきれいです。私は初めて見てすばらしいと感じました。

昼食事してから、帰国者交流センターで、広島県の帰国者や役員の方々と会いました。学習発表会が始まる時に皆は、まず、東北関東大震災の死亡者の皆さんに黙とうしました。それから募金の事です。私は非常に悲しい、心から見舞いしております。私と主人は、できるだ

けの募金をしました。発表会は、広島帰国者の皆さんの歌と太極拳と二胡演奏を聴きました。皆さんはお上手です。うらやましく感じました。

手工芸体験で、私はハンカチに花を挿し小さいかごをつくりました。私はグランドゴルフで賞品をもらいました。抽選会では2等賞をもらいました。うれしかったです。

広島県の役員の方々と帰国者の皆さんはいろいろの事をあたたくて易しくしてくれて、心から感謝しています。一日交流会は楽しかったです、来年も交流会があれば、また参加したいと思っています。

帰国者 高杉芳恵

太極拳で救援募金

太極拳終了式に参加の12人に、東日本大震災被害者への救援募金をお願いし、大封筒の上に張って無記名で募金をお願いしたところ、¥24,143が入っていました。ありがとうございます。募金スタートです。

竹内和夫

仲間づくり推進コーナ

倉敷支部では先の役員会で、会員拡大について協議した結果、拡大担当役員を決めこの役員を中心に取り組みを進めます。

速度は遅々としていますが現在3人の約束ができ、申し込み書の提出を待っているところです。引き続き文化講座への参加者に働きかけをすすめて仲間を増やそうと意思統一をしました。

次回の新聞送付作業は4月11日(月)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

小林和
竹内深三



トルコから地震見舞い

フラット君から書留のお見舞いが届きました。フラットとはユーフラテス川のことで、ずっと前になくなったフラット君のお父さんとはフラット君が生まれるまえから親友でした。

大好きなカズオおじちゃん、日本で起こった大地震と津波の災害をテレビで見ました。

とても心配です。どうかお大事に。みなさんの悲しみをトルコ国民として心から分けあいたいと思います。みなさんのために祈ります。どうか神様がさらなる悲しみを与えませんように。地震でなくなられた家族やみなさんにおくやみ申します。ハルコおばちゃんがへん心配です。お知らせをいただければ幸いです。

(2011,3,16 トルコ南部の地中海の都市アンタリアから)